

サクランボ特報

No. 1

令和5年3月16日
 JA中野市営農センター
 JA中野市サクランボ部会

2月から暖かな気温が続き、向こう1か月予報（気象庁）では気温がかなり高くなる予報が出ています。現時点では生育が平年よりも早まると予想されます。気象情報に十分注意し、生育状況をよく確認して早めの防除に努めましょう。また本年は、凍霜害が心配されますので、凍霜害対策特報を参考に対策を講じて下さい。また、栽培日誌は3月末配布いたします。

(平岡)

佐藤錦	平年	R5	R4	R3	R2	R1	H30
発芽日	4/3	3/31?	4/7	3/29	3/31	4/6	4/1

* 発芽前の防除

散布時期 : 発芽前 (3月下旬)

散布薬剤 水 98ℓ 当り
 アプロードフロアブル 100 ml
 スプレーオイル 2ℓ

散布日	月	日
散布量	ℓ	

対象病害虫 : カイガラムシ類、(ハダニ類)

散布量 : 10a当り 300ℓ

*胴枯病対策 : 発芽前に、石灰硫黄合剤の10倍を単用散布する。
 石灰硫黄合剤は、隣接する園地やハウスビニールにかからないよう注意する。

* 胴枯病の枝は切り取り焼却する。部分的な場合は削り取り、トップジンMペーストを塗布する。

*コスカシバ対策 薬剤散布による防除を行なう場合は、下記のいずれかを実施する。

- ①発芽前に(調)ラビキラー乳剤200倍(発芽前、1回)を樹幹部および主枝に散布する。
- ②開花期までに、フェニックスフロアブルの500倍(開花期まで、1回)を樹幹部および主枝に散布する。(10a当り散布量目安5~200ℓ)

*凍害対策

3月中旬~下旬の花芽が膨らみ始めた頃から開花期まで、低温遭遇時(-3℃以下)の花器障害が心配されますので、園内の保温(燃烧資材の利用、加温設備のある園地では加温機の使用等)により対策を講じて下さい。

次回特報発行予定日 : 3月末~4月初旬
 内容 : 開花前の薬剤散布 他